

## 食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第54回 2022年11月)



前々回、このコーナーで「トーストの厚さはどれくらいが美味しいか」という世界を揺るがす大問題について論じた。今回はその続編、「麺の太さはどれくらいが美味しいか」を検討してみることにする。「防災と何の関係があるんだ」と野暮なことを問うなかれ。万物は因果の鎖でつながっているのである。

太古の昔から行われている論争に、「素麺と冷麦のどっちが美味しい？」がある。食いしん防のまわりでも、夏になると幾度も死闘が繰り広げられてきた。結果はほとんど素麺派の圧勝だったように思う。冷麦派だった食いしん防は、敗北の悔し涙を毎度流したものだ。

しかあし！ 本当に麺として美味しいのは冷麦の方だと、今でも心から思っているのである。なぜならば、「素麺はあまりにも細すぎて、噛まないうちに喉につるつるっと入ってしまう」から。

一般的に、麺類は細い方が喉ごしが良く、太い方が歯ごたえがある。食いしん防は噛みごたえを重視する派なので、太い方が好きなのだ。だから素麺より冷麦が好きで、蕎麦よりうどんが好き。もちろんこれは好みの問題なので、どちらが上とか言うつもりはまったくない。

ではあるけれど、スパゲティ（あえてパスタとは言わない）に関しては、あまり細すぎるのは問題だと思う。スパサラにするなら細くてもよいが、トマトソースに合うのは絶対にある程度の太さをもった麺でなければならない。理由は、その方が麺にソースがよくからむからだ。

食いしん防は、『茄子とベーコンのトマトソース・スパゲティ』が好きな食べ物ベスト3に入るくらいの大好物なのだが、レストランでこれを注文して細麺だとガックリくる。さらに一緒にパンを注文して、バゲットではなくロールパンが出てきても落胆する。「ああこの店は何もわかつちゃいない」と思う。パンでトマトソースをすくって食べるととんでもなく美味しいのに、ロールパンでは合わないのだよーん。（ちなみに、バゲットはグラタンにひたして食べても超美味しい♡）

喉ごしと歯ごたえ。ソースのからみ具合やサイドメニューとの相性など、食べ物の美味しさにはさまざまな要素がある。防災も同じだ。災害への備えや対応にはさまざまな要素があって、正解も一つではない。自分の口に合う料理を選ぶように、防災もそれぞれの状況に合ったかたちで行うべきであろう。



## TOPICS

### ☆市辺地区の「減災連絡会議」に潜入！

とある10月の夜、食いしん防は黒装束に身を固め、市内某所で開かれた集會に忍び込んだ。集まりの名称は『市辺地区減災連絡會議』。八日市の市辺地区における『こと防』に相当する組織である。

天井裏あたりからこっそり偵察するつもりでいたのに、気がつくとなりの席に座らされていた。正面にいる市辺まち協顧問の榎木氏が立ち上がって言った。

「今日は、湖東まち協から食いしん防さんにお越しいただいています。」

がびーん！ こちらの正体は見破られていたのだ。恐るべし市辺。食いしん防はまんまと罠に落ちた。場内を埋めた30名の男女が、ぎらつく視線をこちらに向けてくる。

「さあ、湖東地区の防災の取り組みを、洗いざらいしゃべってもらおうか。」

必死の抵抗もむなしく、食いしん防は口を割らされた。およそ3分間に渡ってこと防の取り組みをごくごく簡単に説明した。市辺の人々は、わかったようなわからないような顔で耳を傾けていた。場をなごませようと放った渾身のギャグは、見事にスベった。

捕虜から中身のある話を聞き出すことをあきらめた彼らは、その夜の本題に入った。市辺地区の各自治会での取り組み状況を報告し合ったのである。食いしん防は耳をそばだて、こっそりメモを取った。

結論を言うと、いやー市辺地区さんよう頑張ってはるわ。こと防が今年から取り組もうとしている『誰も取り残さない防災』を、すでに1年前から始めておられる。いやあ参考になりました。終了後、ようやく解放された後に頭を下げて頼んだ。

「こんど湖東に来て、市辺さんの取り組みについて教えてください。」

「フッフ、よかろう。」

ということで、今月29日のこと防全体研修が決まりました。『個別避難計画』作成にかかる具体的な取り組みの事例を知りたい人は、ぜひ来られたし！

### ☆自治会連合会との合同企画が決定！

湖東地区自治会連合会が開く研修会。今年はそのテーマが『防災』に決まり、彦根気象台から講師を招いて『滋賀県の気象と防災情報』と題する講演を聴くことになった。

例年だと自治会長だけが参加するのだが、今回はテーマにも鑑み、防災推進員も招待されることに。

実は食いしん防にはイヤ～な思い出があって、かつて県の主催する防災研修に参加したおり、受けた自然災害の講義が超つまんなかったのだ。その時の講師が、やはり彦根気象台！ まああの時とは違う人が来るだろうから、今度こそ面白くてためになる情報が得られると信じて、参加してみようと思う。

こと防の全体研修と続けてになるが、できれば両方に出席してね！

## 今後の活動予定

- 11月 3日 ことうふるさとまつりでの啓発活動
- 11月26日 防災出前講座 in 小田苅町
- 11月29日 こと防全体研修会（市辺地区の事例から学ぶ）
- 12月ごろ 災害支援市民ネットワークしが研修（内容未定）

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

## 勝手にQ&Aコーナー

Q：29日まで待てません。市辺地区の取り組みについて、ちょっとだけでも教えてください。

A：市辺地区でも、多くの自治会がほとんどゼロからスタートしています。まずは災害時に自力で避難するのが難しい要援護者のリストを作ることから始めたのですが、自治会の役員さんたちが粘り強く歩いて情報を集め、ていねいな説明で協力を得ておられます。詳しくは29日に！

Q：よその地区まで行ってスベったそうですが、いったいどんな渾身のギャグを放ったのですか。いいかげん恥をさらすのはやめてほしいです。

A：あ、またバカにしてるな。教えてやらないよーだ。（実際は、最初のあいさつで「今日は、星飛雄馬のお姉さんのように、障子の陰からこっそり覗いてるつもりでしたが」とやってスベっちゃいました……）



楽しい質問、お待ちしております！

（文責：こじまっちょ）